

交換留学(派遣) 帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。
① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は帰国後、1ヶ月以内に写真データと一緒にメールで提出してください。



あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	Korea University
留学先での所属学部・研究科:	Business School
留学先での在籍身分:	International Student
留学期間:	2学期(約1年)
神戸大学での所属学部/研究科:	経営学部経営学科
学年(出発時):	3回生
帰国日:	8月1日
本報告書記入日:	9月3日

1. 留学先大学について	
1-1	受入許可書(Acceptance Letter)を貰えた日
	参加必須のオリエンテーション日
	月 日
	8月 26日
	① 9月 1日～ 12月 17日
1-2	学期:
	② 3月 1日～ 6月 16日
	③ 月 日～ 月 日
	④ 月 日～ 月 日
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。
1-3	経営学とメディア学科は生徒数も多く人気が高い印象。
	留学先大学のサポートについて記入ください。
	語学面でのサポート:
	各留学生に担当の高麗大学生(KUBA)が付き、語学等のサポートをしてくれる。言語交換のプログラム等もある。
	勉学面でのサポート:
	設置科目数が多く、教授との距離も近いため質問等がしやすい環境。現地の学生もかなり助けてくれる。
1-4	精神面でのサポート:
	特別に交換留学生に向けたものではないが大学全体として精神的健康のサポートシステムが設けられている。
	住居・生活面でのサポート:
	グローバルデスクやKUBAの学生に聞けば親切に対応してもらえる。
	課外活動のサポート:
	グローバルデスクやKUBAの学生に聞けば親切に対応してもらえる。
	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。
	クリックで別シートへ

2. 住居について	
2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)
	複数の寮が用意されているが、選ぶことは不可。位置や快適さなどかなり差があるようなので、事前の調査が必要。

3. 生活について	
3-1	インターネット接続環境について
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。
	接続可。ワンルームで元から設置されていたため料金等はかかっていない。
3-2	大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。
	接続可能。
	医療について
3-3	留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。
	通わなかった。海鮮等のアレルギーがあるのであれば要注意。(キムチ等に使われている可能性があり、お店自体もかなりルーズなので、表記がない場合がある。)
	銀行口座等について
3-4	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)
	大学に設置されているハナ銀行で口座の開設を行った。私の場合、韓国籍ゆえ住民登録票を用いた住所移行等を市役所にて行った。

4. 経費について(奨学金、留学費用)	
4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):
	支給額(円/月):
	その他(渡航費等の支給):
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)
	航空運賃:
	3万円(往復料金)
	住居費:
	(月額) 70,000円 × (留学月数) 11ヵ月 = 770,000円
	食費:
	(月額) 20,000円 × (留学月数) 11ヵ月 = 220,000円
	保険料:
	23,140円
	旅行:
	120,000円
	その他:
	60,000円 (滞在時の交通費の合計)
	合計(留学期間全体の費用):
	1,223,140円

5. 異文化体験について		
5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	食事は韓国において社会的な意味が特に強くシェアをして食事を楽しむ傾向がある。かなり効率性を重視するため、システム等がかなり整っているが韓国語が読めないと苦労することが多い。
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	週に1, 2回程度
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	アルバイトとインターンシップ(日本スタートアップ企業の韓国支社)を行っていた。
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	留学生を多く受け入れており、また学生数も多いため大学周辺の施設であれば親切に対応してくださる方が多く、街灯や非常ベルなどが多く設置されているため安全。

6. 就職活動について		
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	帰国GOという留学生の就職活動を支援するエージェントに登録し、冬休み(12月下旬ごろ)から本格的にはじめ、2月ごろに内定をいただき終了した。エージェントを介することで特別選考といった形で就職活動を進めることができ私の適性とあった企業を進めてくださるためかなり助けられた。

7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	애브리타임というほぼすべての韓国の大学生が入れている時間割や授業の評価、難易度、サークル活動等を相互共有しあうプラットフォームがあり、履修登録の際はかなり参考になった。
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	文房具。韓国ではほとんど日本の製品を取り扱っており値段が2倍ほどするので少し多めに持参することを推奨。
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	長い未来と近い未来に自分が何を成し遂げたいのか、どんな挑戦をしたいのか、その方向性をつかむことができた。
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:(英語・韓国語) 45点 → 帰国後 80点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	Wifiと冷蔵庫が完全に故障したのだが、その際の大家さん及び担当業者の対応の遅さ。
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	私がKIBER生として初めて高麗大学に交換留学した学生であったため授業の情報や単位交換の目安等、わからないことが多々あり履修登録の際かなり苦労したがそれでも教務部の方々がわかる範囲で丁寧に適切にサポートしていただいた。
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	ぜひお勧めしたい。私のようにアジア圏へ留学する学生は決して多くないが、留学先との距離は、留学の意義を左右するものではないと考えている。むしろ、アジア圏だからこそ欧米からの留学生も多く、多様なバックグラウンドを持つ学生と交流する機会に恵まれている。また、現地の学生も非常に高い英語力を有しており、ネイティブスピーカーに近い英語力を身につけた学生も多い。さらに、神戸大学では履修することのできない幅広い分野の授業が用意されており、さまざまな専門や価値観に触れることができる。特に、将来の進路について深く考え、悩むことの多い3回生の秋という時期だからこそ、普段とは異なる環境に身を置き、自身の視野を広げることには大きな意義があると感じている。そのため、アジア圏への留学であっても、多様な人々との交流や新たな学びを通じて、自分自身の将来について考える上で、非常に有意義で実りのある経験を得ることができると考えている。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。	(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)
	・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	5
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	5
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	5
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	5
	・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか	4
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	5
	・留学全体の総合的な評価	5

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)

私は、大学入学後、自分が将来どうなりたいたいのか、何をより深く学び、どのように社会に出ていきたいのかを明確にできないまま、授業とアルバイトをこなす日々を過ごしていました。成績も決して良いとは言えず、どこか自分に自信を持てない状態でした。

そんな中でも、唯一自分の強みとして頼りにしていたのが、「言語を学ぶことが好き」ということでした。もともとマーケティングやHRの分野にも関心があり、それらをより深く学びたいという思いもありました。そこでKIBERプログラムを知り、「まだ自分がどうなりたいたいのかは分からないけれど、このプログラムを通して、自分の進みたい方向が見えてくるのではないかと直感的に感じ、2回生から参加を決めました。

人前で話すことが得意ではない私ですが、プログラムではあえてプレゼンテーションや発表に挑戦してきました。慣れないことへの不安や戸惑いを感じながらも、一歩ずつ挑戦を続けることで、自分自身の新たな可能性に気づくことができました。

また、私は韓国にルーツを持ちながら、もともとは韓国語を話すことも書くこともできませんでした。大学入学後に英語と韓国語の学習を始め、韓国語を学ぶ中で、自分自身のルーツやアイデンティティをより深く知りたいという思いが強くなりました。多くの学生が欧米圏への留学を選択する中、私は韓国の高麗大学への留学を決めました。当初は直前まで変更を迷っていましたが、「この選択を後悔のないものにしよう」と決意し、最終的には本当にこの選択をしてよかったと感じています。

高麗大学では、英語と韓国語を使う環境の中で、さまざまな国から来た交換留学生と交流し、興味のある分野について幅広く学ぶことができました。その経験を通して、自分自身と向き合い、自分が何を大切に、何に興味を持っているのかを改めて知ることができました。そこで培った価値観や考え方、学ぶ姿勢は、現在も日々の生活や学業に生かされています。

私がこの経験を通して伝えたいのは、まずは多くのことを経験し、その中で「自分が何を嫌い、何が苦手なのか」、そして「何が好きなのか」を知ることが大切だということです。将来について悩むことは決して楽ではありませんが、それだけ自分の人生を真剣に考えている証でもあると思います。

私にとって、KIBERで過ごした時間と留学経験は、自分の「好き」をより明確にし、それをさらに深めるための大きなきっかけとなりました。何になりたいのか、まだ分からなくても大丈夫です。自分の中に「これが好き」「これは大切にしたい」と思えるものが一つでもあるなら、まずはそれを信じてみてください。そして、ほんの少しでもいいので、今できることに挑戦してみてください。

私自身もまだその途中にいます。だからこそ、皆さんと一緒に悩み、挑戦し、乗り越えながら、それぞれの「好き」や「これから」を見つけていけたらと思っています。

9-1	あなたの報告書の一部を引用して、本学の印刷物やウェブサイトに掲載することに同意しますか？	はい
9-2	あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか？	はい
9-3	学部のウェブサイトに報告書を記載します。留学を検討している経営学部生があなたに連絡を取る事に同意しますか？	はい

ご協力ありがとうございました。本報告書は大変有益な資料になります。

1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	授業で の使用 言語	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等の成績評価につい てアドバイスも含めて教えてください
1	Strategic Management of Innovation	Jae young Cho	2	3	English	約20名	授業内での発言頻度及びグルー ププロジェクトへの参加姿勢を 特に重要視している教授なので 授業の事前準備と積極性をア ピールするのが大事。
2	Topic Course(Business Strategy in China)	Mengjin Gao	2	3	English	約50名	試験がない分グループ発表が中 間と期末の二回あり、成績の大 半を反映するため、グループ活 動への積極的参加が大前提。
3	International Business (International Business Management)	Cecile Cho	2	3	English	約60名	授業内での発言をこころがける ことと、授業内で取り扱った事 例やそれと関連のある物につい て自身の言葉で表現できるよう にすることが必要あり。
4	Internatioal Marketing Management	Cecile Cho	2	3	English	約60名	授業内での発言を心がけること と、授業内で取り扱った事例や それと関連のある物について自 身の言葉で表現できるようにす る必要あり。
5	Marketing Management	Tony C. garnett	2	3	English	約60名	グループプロジェクトでは課題 に対する独自性をかなり重視す る教授であり、授業の際にいく つか興味深いケーススタディを あげているので、それらを参考 に進めていくのが有効。
6	Product and Brand Management	Tony C. garnett	2	3	English	約60名	グループプロジェクトでは課題 に対する独自性をかなり重視す る教授であり、授業の際にいく つか興味深いケーススタディを あげているので、それらを参考 に進めていくのが有効。
7	New Product Development and Marketing	Tony C. garnett	2	3	English	約60名	グループプロジェクトでは課題 に対する独自性をかなり重視す る教授であり、授業の際にいく つか興味深いケーススタディを あげているので、それらを参考 に進めていくのが有効。

8	Introduction to Management Information System	Gun-Woong Lee	2	3	English	約20名	コードの入力やRstudioといったソフトを使った実践的演習が多い。一つつまずくと連鎖的に崩れかけてしまうので、その都度教授に質問するなり対処が必要。
9	Advertising Management	Jinhee Choi	2	3	English	約60名	授業内でのフリーディスカッションでは個々の発言がポイントとしてカウントされるので、周りに圧倒されず積極的に参加する必要あり。試験では授業内で扱ったケースが詳細に出題されるので日々の授業を一層集中して聞き逃さないよう心がけるべき。
10	Organization Behavior	Eunki Ro	2	3	English	約60名	受講生の大半が現地学生であり、試験では平均以上をとるのがかなり難しい。試験はもちろんであるが日々の授業で積極的に発言することで周りとの差をつけることが可能。

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

授業の規模や評価方法は科目によって異なり、同じ科目名であっても、試験・授業中の発言・課題などの評価比率は大きく異なる。そのため、履修登録の際には、シラバス等を確認し、評価方法を事前に把握しておくことが重要である。

また、人気の高い授業は受講者数が60～70名程度と比較的多く、履修登録開始後すぐに定員に達する場合もあるため、早めに登録する必要がある。授業の多くでは活発なディスカッションが求められ、特に英語で行われる授業では、現地学生の英語力も非常に高いため、積極的に発言する姿勢が重要である。特にチームプロジェクトを伴う授業では、発言や議論への参加が少ないと、グループ内での役割を十分に果たすことが難しくなるため、主体的に授業へ参加することが求められる。

さらに、現地学生は授業時間外にも、教授への質問やメールでの問い合わせなどを積極的に行っている様子が見られた。授業中だけでなく、授業の前後の時間も有効に活用し、必要に応じて教授や他の学生と積極的にコミュニケーションを取ることが、学習を充実させる上で重要であると感じた。